



「私たちは夢を見たが、それを解き明かす人がいない。」ヨセフは彼らに言った。「それを解き明かすことは、神のなさることではありませんか。さあ、それを私に話してください。」(8節)

ここでは夢について語られています。旧約聖書は新約聖書の目を持って読んでゆきましょう。マタイ1：20 使徒2：17によると夢は神のことばであり、預言です。自分の夢はこわれる事がありますが、神様の見せて下さる夢は実現します。教会に繋がって、教会で捉えている夢、神のことばに従っていけば、主の栄光を拝することが出来、その中で自分の夢も実現されている事に気づくでしょう。私達は教会で整えられ、共に聖餐式にあずかる弟子として導かれています。(マタイ26：26)

あらぬ罪で牢獄に入れられても、主がヨセフとともにおられ、彼が何をしても、主がそれを成功させてくださったから、囚人であるにもかかわらず、監獄の長はすべての囚人をヨセフの手に委ね、管理を任せました。そこに、エジプト王に罪を犯した献酌官と調理官とが監獄に入れられて、ふたりとも同じ夜にそれぞれ夢を見、その解きあかしをヨセフがします。「それを解き明かすことは、神のなさることではありませんか。」献酌官は三日のうちに呼び出し、パロのもとで以前のように仕えるようになること。一方料理長は三日のうちにパロはあなたを呼び出し、あなたを木につるし〜というものでした。献酌官に「あなたがしあわせになったときには、きっと私を思い出してください〜ここでも私は投獄されるようなことは何もしていないのです。」と願いました。見ず知らずのエジプトに売られてきたヨセフの悲痛な叫びがあります。やっとやっと監獄から出られるかもしれないチャンスが来て、ヨセフは監獄で今か今かと解放されることを待っていたのではないのでしょうか。ところが彼は自分が解放されるとヨセフの事を思い出さず、彼の事を忘れてしまったのです。何という悲劇でしょうか！その結果2年間も待たされるのです。

この様な時でも、ヨセフは決して自暴自棄になりませんでした。それは彼が夢を握っていたからです。その夢…神のことば…が苦難にある彼を慰め、励まし、信仰を更に燃やしたでしょう。TLCCCの教会の歩みも、いつも「神の言葉」によって、道が拓かれ、励まされ、慰めを受け、聞き従うことによって多くの人知をはるかに越えたわざを見てきました。箴言29：18には「幻がなければ、民はほしいままにふるまう。しかし律法を守る者は幸いである。」とあり、この幻も預言の言葉、神のことばです。

ヨセフにとうとう解放される時が来たのです。それは単に牢獄から出られるというだけではなく、一気にスポットライトを受ける立場になります！！ さかのぼって過去をみると、試練は決して試練で終わらず、その試練があったからこそ更によい神様のご計画がひらかれてゆきます。不平不満を言って感謝なき生活をする事が出来ないように！信仰を失って教会を離れてしまう事が出来ないように気をつけてゆきましょう。この様な苦難の時にこそ、主に目を上げて悔い改めるべきことを悔い改め、感謝し、なお主に信頼し賛美してゆきましょう。ヨセフは成就する神のことばを信じてこのようにしていたでしょう。3月16日から「感謝と賛美とリバイバルキャンプ」がアメリカで行われます。行けない方も、共にこの恵みにあずかれますように！

Siloam

【シロアム：遣わされた者】

2015.3.1 No.830

新年のみ言葉

あなたとともにいるこの民はみな、
主のみわざを見るであろう。
わたしがあなたとともに行うことは
恐るべきものである。

出エジプト記 34：10



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>

